

科目名	介護職員初任者研修講座Ⅲ(こころとからだのしくみと生活支援技術)						
Course Name	care staff beginner's training lectureⅢ						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	石川 幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟2階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間以外						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP1、DP2						
授業の概要と到達目標	<p>〈概要〉 生活支援技術の基本となるこころとからだのしくみに関する知識を習得する。そのうえで、日常生活の基本となる移乗・移動に関する基礎知識や技術について学ぶ。さらに福祉用具の活用により自立に向けた個別性のある技術について習得する。</p> <p>〈到達目標〉</p> <p>①介護に関するこころとからだのしくみおよび ICF の視点に基づいた基本的な考え方を説明できるようにする。</p> <p>②移動に関するこころとからだのしくみを理解し、自立に向けた適切な生活支援技術を習得できるようにする。</p> <p>③移動に関連した福祉用具の適切な使用方法を習得し活用できるようにする。(褥瘡予防を含む)</p> <p>④緊急時における基本的な対応方法を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	講義で知識を学び、演習を通して技術の習得を行う。利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会としたい。						
学習成果	L01	基本的な人体の構造と機能を簡略に図式化し、説明することができる。					
	L02	移動に関する生活障害に対して、福祉用具を活用しながら適切な技術を習得することができる。緊急時に対して適切に対応することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却する。平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	①介護職員初任者研修テキスト 第2巻 「自立に向けた介護の実際」 中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	<p>●選択科目であるから目的意識を持ち意欲的に取り組むこと。講義・演習ともに積極的に臨み、演習時は身だしなみを整えること。また、自己練習し、技術の向上に努めること。欠席した場合は、必ずその部分の学習を補い届出等は速やかに提出すること。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:介護福祉士、職歴:通算13年)</p> <p>●特に高齢者介護の多様な経験を、利用者の移動支援の演習時に活かす。</p>						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	テキスト・マニュアル・配布資料を活用し、自主的にメモしている。演習時は身じたくを整え、積極的に参加している。指導を受け入れ、技術を習得しようと努力する姿勢がみられる。	20					
レポート/作品	演習の振り返り①②(各10%) S:演習内容を踏まえ、利用者役・介護者役両面からの学びを記述している。		20				
発表							

小テスト					
試験	生命の維持・恒常のしくみ・人体の基礎知識・安楽な体位・介護技術・道具・用具の活用方法・緊急時の基本的対応に関する理解ができて いる。		60		
その他					
合計			20	80	
回数		授業計画			
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業の狙いと進め方、成績評価の方法・演習時の注意事項・演習室の使い方など) 基本知識の学習① 基本的なところからだのしくみ【講義】			
	事前・事後学習	テキスト2 P2～P9を読んで、介護に対するイメージを列挙する			
2	授業内容	基本知識の学習② 基本的なところからだのしくみ、ICFに基づく介護の基本的な考え方【講義】			
	事前・事後学習	テキスト2 P28～P41を読んで、重要個所にアンダーラインをひく			
3	授業内容	基本知識の学習③ 介護に関するからだのしくみ、移動に関わる障害と生活障害 基本的な体位【講義】			
	事前・事後学習	テキスト2 P160～P167を読んで、重要個所にアンダーラインをひく			
4	授業内容	基本知識の学習④ 安楽な体位(褥瘡予防を含む)【演習】			
	事前・事後学習	実際にベッド上であおむけに横になり、全く動かない状態で15分過ごした場合、苦痛に感じた部分を書き出す			
5	授業内容	移動に関わる生活支援技術① ボディメカニクス【演習】			
	事前・事後学習	テキスト2 P128のボディメカニクスの基本原理を参考にし、日常生活のどんな動作が当てはまるか、書き出す			
6	授業内容	移動に関わる生活支援技術② 移動に関する福祉用具 種類と使い方【演習】			
	事前・事後学習	テキスト2 P134の車いすの構造を図で書き写す			
7	授業内容	移動に関わる生活支援技術③ 片麻痺のある人への体位変換(一部介助) 上方移動、水平移動、側臥位、端座位【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP147～P149の空欄部分を記入する			
8	授業内容	移動に関わる生活支援技術④ 片麻痺のある人への移乗(一部介助) 端座位、車いす【演習】(レポート① 提出:第9回目)			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP151を記入			
9	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑤ 片麻痺のある人への体位変換・移乗(全介助) 側臥位、端座位、車いす、ストレッチャー【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP120の項目にチェックを入れる			
10	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑥ 肢体不自由のある人への体位変換・移乗(一部介助・全介助)【演習】(レポート② 提出:第11回目)			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP153を記入			
11	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑦⑧ ⑦福祉用具の活用 移動用リフト、リクライニング式車いす ⑧視覚に障害のある人の歩行介助 基本姿勢、狭所やドアの通過、椅子への誘導【演習】			
	事前・事後学習	視覚に障害のある人の歩行介助用のプリントを読み、アンダーラインをひく			
12	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑨ 視覚に障害のある人の歩行介助 階段の昇降、クロックポジション【演習】			
	事前・事後学習	自分の部屋の中を、目隠しをして動き回り、感想を記入する			
13	授業内容	バイタルサイン バイタルサインの意義 測定方法【一部演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP159～P161を記入する			
14	授業内容	緊急時の対応① 利用者の理解、予測される事故、緊急度の判断、適切な体位、運搬法【講義】			

	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP107～P112 を読み、アンダーラインをひく
15	授業内容	緊急時の対応② 創傷、熱傷、骨折 気道遺物の除去、止血法、包帯法 【一部演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP111 の包帯法を実施し、スマートフォンなどで写真をとる